

神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想策定委員会の実施状況について

令和7年3月をもって休館した神奈川県立県民ホール本館（以下「県民ホール」という。）の再整備に当たり、神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想（以下「基本構想」という。）を策定するため、神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想策定委員会を設置した。

1 神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想策定委員会の設置

(1) 目的

県民ホールの再整備に当たり、新たな県民ホールが目指すべき方向性や求められる機能等を整理した基本構想を策定する。

(2) 委員数

11名

(3) 任期

令和7年5月1日から基本構想が策定される日まで

(4) 委員

氏名（50音順）	所属等
石田 麻子	昭和音楽大学教授
泉 葉子	車いすダンサー
稲村 太郎	公益財団法人セゾン文化財団事務局長/プログラム・ディレクター
雲龍 大祐	四季株式会社（劇団四季）取締役
金田 佳幸	公募委員
小林 真理	東京大学教授
笹井 裕子	ぴあ総合研究所株式会社取締役所長
佐藤 慎也	日本大学教授 八戸市美術館館長
長門 佐季	神奈川県立近代美術館館長
宮崎 刀史紀	公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団 みなと芸術センター開館準備室長
吉野 良祐	公募委員

(5) 特別委員

特別委員は、第2回、第4回、第5回に出席し、専門的見地等に基づく意見を述べることができる。

氏名（50音順）	所属等
上野 水香	東京バレエ団ゲスト・プリンシパル
恵良 隆二	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団専務理事
大辻 壮	一般社団法人神奈川県聴覚障害者連盟副理事長
榊原 徹	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団常務理事兼音楽主幹
土田 英貴	株式会社キョードー横浜代表取締役社長
三沢 厚彦	彫刻家 武蔵野美術大学教授

(6) 開催状況及び主な議題

ア 第1回

開催日 令和7年5月13日（火）

主な議題 神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想骨子案について
各回の検討内容案について

イ 第2回

開催日 令和7年6月11日（水）

主な議題 前提条件の整理について
再整備の基本方針について

ウ 第3回

開催日 令和7年7月7日（月）

主な議題 前提条件の整理について
再整備の基本方針について

エ 第4回

開催日 令和7年8月6日（水）

議題 施設整備について

オ 第5回（予定）

開催日 令和7年9月4日（木）

議題 施設整備について

2 基本構想骨子案

別紙のとおり

3 今後のスケジュール（予定）

令和7年9月 第5回委員会

10月 第6回委員会

11月 第7回委員会

12月 第3回県議会定例会文化スポーツ観光常任委員会に基本構想素案を報告
基本構想素案に対するパブリック・コメントの実施

令和8年1月 基本構想案の取りまとめ

2月 第8回委員会

第1回県議会定例会文化スポーツ観光常任委員会に基本構想案を報告

3月 基本構想策定

神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想骨子案

1 はじめに（基本構想策定の背景・趣旨）

- (1) 県民ホールを再整備することとした背景及び基本構想策定の趣旨

2 文化芸術及び文化施設の動向

- (1) 上位計画及び関連計画の整理
- (2) 全国の主要文化ホール等の状況、神奈川県内のホール・アリーナ・美術館・ギャラリー等の状況
- (3) 文化芸術及び文化施設に関する長期的な動向

3 県民ホールの現状と課題

- (1) 現在の県民ホールの概要、利用状況、利用者属性、収支等
- (2) 現在の県民ホールの課題（老朽化による故障、ユニバーサルデザイン等）
- (3) 県民（利用者）の意向

4 県民ホール本館のあり方に関する県の検討状況

- (1) 新県民ホールの建替え判断に至った経緯（検討結果）

5 再整備の基本方針

- (1) 基本方針（県民ホール整備の目的）
- (2) 県の文化政策・事業の方向性（県民ホールが担う活動及び事業方針、地域等との連携の考え方）
- (3) 県民ホール運営（運営組織の考え方、必要な職能と職員数、運営基本方針）の基本的な考え方

6 施設整備

- (1) 再整備の基本方針を踏まえた施設整備の考え方
- (2) 施設概要（ホール・ギャラリー等機能諸室整理、施設構成、収容人数、舞台規模・舞台設備（機構、照明、音響、映像等）等）
- (3) その他の機能（飲食、広場、託児、駐車場等）
- (4) 整備を進める上で配慮すべき事項
- (5) 整備手法・整備費見込み
- (6) 関係法令の規制

7 管理運営

- (1) 管理運営の基本的な考え方（他の県有文化施設との連携、主催事業・施設提供事業、資金調達、危機管理等）
- (2) 運営経費見込み
- (3) 収支見込み

8 期待できる県民生活への効果

- (1) 経済波及効果、地域への影響、共生社会への効果、県民の文化芸術体験機会の確保等

9 その他

- (1) 今後検討すべき課題整理（新県民ホール建替え期間中の代替施設等）
- (2) 小ホールオルガンの措置
- (3) 今後の進め方・スケジュール等